

令和4年12月20日  
文 京 区

## 独立行政法人水資源機構が発行するサステナビリティボンド の購入について

文京区は、積立基金の運用を通じた社会貢献への取組として、独立行政法人水資源機構（以下「同機構」という。）が発行するサステナビリティボンド（第20回水資源債券。以下「本債券」という。）を購入しました。

同機構は、大都市圏に水を安定的に供給することを目的として国の全額出資により設立された独立行政法人で、国民生活の向上と産業経済の発展に寄与しています。

サステナビリティボンドは、調達資金の用途が、①環境改善効果があること（グリーン性）及び②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券で、同機構は、2020年9月、サステナビリティボンド・フレームワークについて、国際資本市場協会（ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則2020」、「サステナビリティボンド・ガイドライン2018」、「グリーンボンド原則2018」などに適合する旨のセカンドオピニオン（発行者：株式会社格付投資情報センター（R&I））を取得しています。

本債券の発行により調達された資金は、同機構が展開する治水・利水事業に充当され、渇水の頻発化への対応や水質の保全、洪水調整機能等による自然災害への対応など環境・社会的課題の解決に活用されます。また、国連の持続可能な開発目標（SDGs）のうち、「目標6：安全な水とトイレを世界中に」、「目標11：住み続けられるまちづくりを」、「目標13：気候変動に具体的な対策を」などの達成にも貢献します。

文京区は、引き続き、SDGsの視点を生かして社会的課題や環境問題の解決に貢献する取組を進め、今後も、持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしてまいります。